

学会会長就任のご挨拶

日本ゴマ科学会
会長 片山健至

香川大学農学部の片山です。2021（令和3）年4月から日本ゴマ科学会会長に就任いたしました。吉田元信前会長の後任として、昨年10月の奈良市における第35回大会時の総会において、ご選任いただき、この大役に取り組むことになりました。私自身は農学部において林産化学あるいは森林バイオマス化学を専門分野としてきました。1991年の海外留学を機に樹木のリグナン生合成を研究するようになり、そしてゴマリグナンの機能性と生合成に興味を持ち、本学会に入会し、故並木満夫元会長や田代亨元会長には大変お世話になりました。そこで、両先生と日本ゴマ科学会の皆様に恩返しをするつもりで、会長をお引き受けした次第であります。この重責を果たすために、役員会・評議員会の皆様、会員の皆様のご支援とご協力のもとに、全力を尽くしたいと思います。よろしくお願いいたします。

さて、我国においては2020年の初めに新型コロナウイルス感染症が流行し始めて、すでに1年半を越えようとしています。お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、感染された方々やそのご家族、ご親族、関係者の皆様に対して、心からお見舞いを申し上げます。会員の皆様には感染防止に努めながら、それぞれの職務を全うされ、そして本学会活動に貢献されていますことに敬意を表します。昨年の第35回日本ゴマ科学会大会を、第2波と第3波の間隙を縫い、会場を大阪から奈良に移して開催にこぎつけた吉田前会長、和田武大前大会実行委員長、および田中洋治前運営委員長に感謝いたします。

コロナ禍の終息は楽観できません。ワクチンの接種が進む一方で、強力な変異株が出現し、第4波の後にそれを上回ると危惧される第5波が来る状況です。このような状況を見越して、そして学会活動と感染防止の両立のために、本年9月4日（土）に開催する第36回大会は宮崎県都城市南九州大学の山口雅篤先生（大会実行委員長）と長江嗣朗先生（同事務局）にお世話をいただいておりますが、本学会で初めてオンライン方式によって開催されます。初めてのことでご準備には大変なご努力とご苦勞をされている両先生に、深く感謝申し上げます。

さて、吉田前会長は2017年のご就任時に、本学会の活性化のためにアンケート調査を行い、その結果に基づいて、第一に広報活動の強化のためにホームページのリニューアルを行い、第二に国産ゴマ生産地の現地検討会を毎年の行事として開始し、第三にセサミニュースレターを学会誌としての内容に改善するために、論文・総説の掲載を充実し、第四にゴマ研究を活性化するために、研究助成制度を創設しました。

今後、これらの活動方針を継承・強化するとともに、本学会がより社会的信頼性を持って活動するために一般社団法人化の検討を始めるように、そして、セサミニュースレターの発

信力を一層強化するために J-STAGE にアップできるようにしたいと考えています。

日々の研究を学生さんと共に行うこと並びに対面での種々の交流活動が、コロナ禍のために大きく損なわれていますが、一日でも早く立ち直り、本学会を SDGs およびアフターコロナ社会に貢献できる存在に進歩させたいと考えています。重ねて皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

(セサミニュースレター No. 36, p. 2, 2021 年 9 月 1 日発行)